学校番号	404

令和5年度　　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「　　書Ⅲ　　」（ 光村図書出版 ）						
副教材等	「　　」（　　出版）						

1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまでの書道における表現と鑑賞の幅広い活動を通して深めてきた理解や技法をもとに、主体的な創作活動を行います。自らの思考や個性を書で表現する楽しさを学びましょう。

2. 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：書への関心・意欲・態度	b：書表現の構想と工夫	c：創造的な書表現の技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な諸表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技術を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・学習活動への参加状況や態度 ・学習の記録 ・制作カード ・学習成果(作品)	・学習成果（作品） ・制作カード	・学習成果(作品) ・制作カード	・学習活動への参加状況や態度 ・鑑賞カード ・学習成果(作品)

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	**漢字の書の美と文化**	・臨書や鑑賞を通じて、各古典の用筆法・運筆法や、表現の特徴を理解し、自らの意図や感動を表現できる技法を習得する。 ・主体的に習得した技法を用いて創作に取り組む。 ・創作した作品を鑑賞しあう。 ・作品展への出品を目指す。	○	○	○	○	a：書に関心をもち、主体的に活動に取り組んでいるか。 b：書のよさ、美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされているか。 c：基礎的な能力を身に付け、効果的な表現の技法を用いることができるか。 d：書のよさや美しさを創造的に味わっているか。	作品 学習の記録 制作カード
2	**仮名の書と美の文化**	・さまざまな古筆の特徴を理解し、意図や感情を表現できる技法を習得する。 ・臨書や鑑賞を通じて、用筆法や運筆法を理解し、主体的に創作に取り組む。 ・創作した作品を鑑賞しあう。	○	○	○	○	a：書に関心をもち、主体的に活動に取り組んでいるか。 b：書のよさ、美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされているか。 c：基礎的な能力を身に付け、効果的な表現の技法を用いることができるか。 d：書のよさや美しさを創造的に味わっているか。	作品 学習の記録 制作カード
2	**創作**	・自己の表現を求めて、自らの思考や感動を表現する語句と書表現との関係について考える。 ・用具・用材による表現の変化を楽しみ、創造的表現を工夫する。	○	○	○	○	a：書に関心をもち、主体的に活動に取り組んでいるか。 b：書のよさ、美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされているか。 c：基礎的な能力を身に付け、効果的な表現の技法を用いることができるか。 d：書のよさや美しさを創造的に味わっているか。	作品 学習の記録 制作カード
3	**創作**	・自己の表現を求めて、自らの思考や感動を表現する語句と書表現との関係について考える。 ・用具・用材による表現の変化を楽しみ、創造的表現を工夫する。	○	○	○	○	a：書に関心をもち、主体的に活動に取り組んでいるか。 b：書のよさ、美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされているか。 c：基礎的な能力を身に付け、効果的な表現の技法を用いることができるか。 d：書のよさや美しさを創造的に味わっているか。	作品 学習の記録 制作カード

※ 表中の観点について　　a：書への関心・意欲・態度　b：書表現の構想と工夫

c：創造的な書表現の技能　d：鑑賞の能力

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。